渡良瀬橋（わたらせばし）

森高千里・作詞／斉藤英夫・作曲・編曲

渡良瀬橋で見る夕日を　あなたはとても好きだったわ
きれいなとこで育ったね　ここに住みたいと言った
電車にゆられこの街まで　あなたは会いに来てくれたわ
私は今もあの頃を　忘れられず生きてます

今でも　八雲神社へお参りすると　あなたのこと祈るわ
願い事一つ叶うなら　あの頃に戻りたい

床屋の角にポツンとある　公衆電話おぼえてますか
きのう思わずかけたくて　なんども受話器とったの

この間　渡良瀬川の河原に降りて　ずっと流れ見てたわ
北風がとても冷たくて　風邪をひいちゃいました

　誰のせいでもない　あなたがこの街で
　暮らせないことわかってたの
　なんども悩んだわ　だけど私ここを
　離れて暮らすこと出来ない

あなたが好きだと言ったこの街並みが
今日も暮れてゆきます
広い空と遠くの山々　二人で歩いた街
夕日がきれいな街

JASRAC 出 1502136-502

通4丁目及び田中町（渡良瀬橋）
通3丁目（歌碑）

渡良瀬橋と美しい夕日

沈む夕日を背景とした渡良瀬川とトラス橋の織りなす風景は、どこか懐かしく、その美しさは眺めていると時間の経過を忘れてしまいます。橋の北側のたもとには『渡良瀬橋の歌碑』が設置されており、ボタンを押すと森高千里さんが歌う『渡良瀬橋』が流れます。

八雲神社（緑町）

同じ名称の神社は市内に数カ所ありますが、足利総鎮守であるのが緑町の八雲神社です。その歴史は長く、貞観11（869）年の東国大震災の際、清和天皇が八坂神社（京都府）、津島神社（愛知県）と共に勅願所と定めました。

（写真の社殿は、平成24年12月に火災により焼失。現在は仮社殿です。）

緑町1丁目3281
電話：0284-21-8801

床屋と公衆電話

今でも残されている
「床屋の角の公衆電話」

足利への交通アクセス

電車の場合

- 東武伊勢崎線浅草駅から特急で約75分（北千住から60分）
- 上野から東北新幹線または宇都宮線小山駅で両毛線に乗り換え、小山から約40分
- 上越（長野）新幹線高崎駅で両毛線に乗り換え、高崎から約60分

車の場合

- 北関東自動車道足利インターから約8分
- 北関東自動車道太田桐生インターから約15分
- 東北自動車道佐野藤岡インターから約25分

お問い合わせ先

一般社団法人 足利市観光協会
〒326-0053 栃木県足利市伊勢町3丁目6-4（太平記館内）
tel 0284-43-3000　fax 0284-43-3333
http://www.ashikaga-kankou.jp/

足利市観光振興課（住所は上記太平記館内）
tel 0284-43-8788　fax 0284-43-3333
http://www.city.ashikaga.tochigi.jp/

足利市観光案内

渡良瀬橋を訪ねて…

学び舎（や）のまち 足利

森高千里さんからのメッセージ

©2012 UP-FRONT PROMOTION

「渡良瀬橋」は私の曲の中でも特別な曲になりました。

足利市から感謝状を頂いたり、渡良瀬川のほとりには歌碑が建立されたり、作詞をしている時には想像もしていなかったことです。

2012年5月、私は20年ぶりに足利の街をゆっくり歩いてみました。歌碑の前に立ち、八雲神社にお参りし、あの公衆電話と再会し、そして綺麗になった渡良瀬橋を見て感慨深いものがありました。本当に行ってよかったなと思っています。

この詞を書く以前ですが、1989年10月22日に私は足利工業大学の「定例リーダー公開祭」で初めて足利市を訪れていました。あの日渡った川が「渡良瀬川だったんだ。」と地図帳を見ながら思い出しました。渡った橋のことはよく憶えてはいませんでしたが、きっと渡った橋は渡良瀬橋だったんじゃないかな?と思いながら足利市をゆっくりと見に行こうと決めました。

嬉しかったことは、市役所の方と連絡を取るようになって知ったことですが、渡良瀬橋の夕景がすでに足利市の足利百景に選ばれていたことでした。

足利市民の自慢の夕景を私も私の目で見て感動して歌に唄う事が出来たことは本当に嬉しかったです。

歌に出てくる河原は渡良瀬橋の南側から下った河原です。実際に風が冷たくて流れを見ているうちに風邪を引きそうになったことを覚えています。そのまま歌詞にしましたね。

取材に行った日の夕方、渡良瀬橋の北側から橋の歩道を渡っているときに見た夕日があまりにも綺麗で感動して立ち止まってしまいました。しばらく見入ってしまいました。

YouTubeにアップした動画のテロップにも書きましたが、初めて渡良瀬橋を見たとき錆びた鉄骨がむきだしの鉄道の古い鉄橋のように見えました。私が勝手に北関東の小京都にかかる古い時代からある情緒溢れる橋をイメージしていたので「えっ、渡良瀬橋って昔は鉄道の鉄橋だったの」と思ったくらいです!

でも、たくさんの車や人が往来する渡良瀬橋から美しい夕日を見ながら思いました。

渡良瀬橋はずっと「みんなの生活を支えてきたみんなの橋」なんだと。このたくましく武骨な「渡良瀬橋」とこの夕日の美しさを歌にしようと決めました。

その後何度か足利市に歌詞を完成させるために足を運びましたが、行くたびに渡良瀬橋から沈む夕日を見て感動していました。

この橋とこの夕日がこの曲を生んでくれました。

これからも「渡良瀬橋」を大切に歌い続けていきます。

森高千里

渡良瀬橋を巡るコース

東武伊勢崎線 足利市駅 合計:5.5km —1km→ 史跡足利学校 鑁阿寺 —1.1km→ 足利織姫神社 —0.7km→ 床屋と公衆電話 —0.6km→ 八雲神社（緑町） —1.2km→ 美しい夕日 渡良瀬橋歌碑 —0.9km→ 東武伊勢崎線 足利市駅

JR両毛線 足利駅 合計:5.5km —0.6km→ 史跡足利学校 鑁阿寺 —1.1km→ 足利織姫神社 —0.7km→ 床屋と公衆電話 —0.6km→ 八雲神社（緑町） —1.2km→ 美しい夕日 渡良瀬橋歌碑 —1.3km→ JR両毛線 足利駅

※距離はおよその目安です。